



大竹市議会YouTube

名前横の時間はyoutubeの動画の
一般質問開始時間です。

6月17日
(1日目)は
こちらから



6月18日
(2日目)は
こちらから



第3回定例会

一般質問

8名が登壇



本会議や委員会では基本的に公開されとるんよ。ケーブルテレビの生中継やインターネットの録画中継もあるんじや！

【6月17日(1日目)】

日域 究

(9:54~)

黒板のない学校を視察しました
おむつの宅配は欲張らないで

藤川 和弘

(1:31:52~)

地域の身近な情報は、自治会公式LINEアカウントで

山代 英資

(1:58:35~)

クーリングシェルの本市設置状況について

岡 和明

(2:19:01~)

未来に向け最優の施策を共に編み出す議論を

末広 天佑

(2:59:10~)

公用車の効率的な運用について

中野 友博

(3:24:28~)

若者の移住からうまれる地域の拠点づくりについて

【6月18日(2日目)】

小出 哲義

(0:59~)

大竹市の防犯活動について、防犯カメラ設置について

豊川 和也

(40:26~)

選挙時における事前運動の疑いについて
防災キャンプを推進します

答

常石ともに学園のイエナプラン教育では、自分で時間割を作り、一人で取り組んだり異年齢で考え合ったりしながら学んでいます。このように、子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、教師が必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行うことや、子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、学習活動や課題に取り組む機会の提供

問

黒板のない学校を
視察しました



じついき きわむ

日域 究

答

相談などの子育て支援業務を加えて実施することには、子育て家庭の経済的負担の軽減だけでなく、社会的に孤立を感じやすい保護者の精神的ストレスを軽減する目的があります。配達員には、専門的な立場から助言を行う相談業務ではなく、相談を受けた際に市への相談を促すことや、市への取次など、橋渡し役となることを期待するものです。

本事業により、少しでも多くの保護者が安心して子育てができるよう関係団体と理解を深め、連携し実施します。

問

おむつの宅配は
欲張らないで

宅配自体は素晴らしいことですが、配達係が相談を受け、子育て支援までするのは無理がありませんか。それは今まで公務員である保健師や主任児童委員が担当してきた分野で、不協和音も漏れてきますが大丈夫ですか。

を行うことが重要であると考えます。本市においても他地域の良さを参考に、これまでの本市の良さを継続しながら学校運営に取り組んでいきます。



子ども達が自由に
使う教材



問

大竹市公式LINEアカウントの開始に伴い、自治会でのLINE活用について提案させていただきます。他地域での自治会ではLINEを利用したデジタル回覧板やオンラインチャットの導入により、役員の負担軽減や地域全体の活性化に成功している例もあります。行内案内やお知らせの迅速な共有、資料の印刷代削減、災害時の迅速な情報伝達などが実際に活用例としてあります。高齢者の利用ハードルや個人情報保護の課題もありますが、市からの積極的なサポートがあれば、自治会のデジタル化が進み、地域全体の情報共有と連携が強化されると思います。自治会公式LINEアカウントの運営に対する助成金や技術支援をお願いしたいが、市の考えをお伺いします。



地域の身近な情報は、 自治会公式 LINEアカウントで



ふじかわ かずひろ

藤川 和弘

答

大竹市自治会連合会では、自治会が抱えている課題や悩みなどを把握するため、全自治会に対しアンケート調査を行っています。市としては、このアンケート調査の結果を分析し、デジタル化により課題の解決が図られるかについて、自治会連合会と話し合います。コミュニケーションアプリの導入が自治会の課題解決に有効との結論になった場合は、まずは各自治会に知ってもらうことが重要です。すでに導入している自治会に、自治会連合会が開催する勉強会などで、導入の経緯や方法、効果などについて紹介いただく機会を設けることは可能です。そのような周知や各自治会からの意見を聞きながら、利用料などが自治会にとって大きな支障となる場合は、何らかの支援を検討します。

問

熱中症対策の強化を盛り込んだ「改正気候変動適応法」の施行に伴い、熱中症特別警戒アラート発表期間中には、一定の要件を満たす施設を「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」として市が指定できる制度が新たに設けられました。アメリカの疾病予防管理センターからは、クーリングシェルターの活用は熱中症予防に有効であるとの報告がなされており、クーリングシェルターで涼をとることが重要とされております。全国でも多くの自治体が取り組みを進め、庁舎・図書館等の公共施設のほか銭湯、薬局などの民間施設を開放しているところもあります。設置状況や周知の仕方等、本市の取り組みについて考えをお尋ねいたします。

クーリングシェルターの 本市設置状況について



やましろ ひでたか

山代 英資

答

クーリングシェルターは、民間施設を含めた、より多くの施設を指定することが理想ですが、管理上の課題などもあり、当面は本庁舎、総合市民会館・総合体育館、市図書館、アゼリアおおたけ、サントピアおおたけ及び晴海臨海公園管理棟をクーリングシェルターに指定します。利用時間は各施設の開放時間とし、開放する部屋などは各施設の実情に応じます。熱中症特別警戒情報発令時には、防災行政無線により周知しますが、防災情報などのメールシステムや市ホームページ、市公式LINEでも防災行政無線の内容が発信されます。





おか かずあき
岡 和明

未来に向け最優の施策を 共に編み出す議論を

問 前回、小方小跡に駅併設型の道の駅を作り、パーク＆ライド駐車場を備えて駅を活性化する私の提案に対し、「他自治体で取り組みが進んでいない」といった理由で、全国的に稀有な小方の好条件を無視する答弁がありました。駅伝継承の提案に対しても、渋滞が起き得ない道で「交通渋滞が予想される」との無理な答弁がありました。

小方小跡の分割民有地化で公共メ리트を捨ててしまう策や、70年の伝統ある駅伝の安易な廃止のように、市の施策は「短期利益」「やりやすさ」を優先し、長期利益や文化発信への関心が薄い傾向があります。議会が長期的な視点で提案をおこない、未来に向け最優の施策を共に編み出すことが必要だと思います。



駅伝など市のイメージ向上に
活用が望まれる美しい堤防道周辺

答 執行部からの答弁が不合理であり、また、執行部の施策が、「やりやすさ」や「短期利益」を優先し、文化発信や長期利益への関心が薄い傾向が顕著であるとの意見ですが、本市としては、不合理な答弁をしたという認識はありません。本市の現状を踏まえた上で、将来を見据えて施策の方向性を提案しており、議員の考え方とは、若干の見解の相違があるのではないかと思います。

これまでも議員の皆様おひとりおひとりが市民の皆様の意見を集め、それぞれの考え方でまとめた意見については、本市の施策を決めていく上で参考にしています。

今後、市民の皆様のためのより良い市政の実現を目指して、さまざまな施策を市議会に提案します。



すえひろ てんゆう
末広 天佑

公用車の 効率的な運用について

問 昨今、環境負荷の軽減を目的として、より効率的で持続可能な行政運営が求められるようになってきています。昨年度成立したGX推進法により国も地方自治体への支援策を強めています。

自治体でもこの動きは強くなってきており、まず目に見えてわかりやすい公用車の効率的な運用、削減を目指す自治体が増えてきました。本市において今後の公用車の運用の方針についてお伺いします。



庁舎に並び公用車



DALL・Eにて生成したエコなEV

答 環境に配慮した電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車などへの切り替えも今後は重要と考えます。しかし、このような車両を導入するには、充電設備の整備も必要となるなど、費用面での負担の増加が予想されるため、効率的な運用によるコストの削減、適正数の把握が不可欠です。一方で、災害対応などの際に行政が果たすべき役割にも十分配慮しなければならぬなど、効率化以外の視点も非常に重要です。

公用車の効率的な運用、所有資産の効率的な活用に関して、デジタル技術の有効な活用に加え、脱炭素化に資する取組など課題は多いですが、社会情勢を見極めつつ、順次取組を進めます。



一般質問というのは、議員が市政の課題を自由に選んで、本会議で市長に見解を聞くんですよ。議員1人の持ち時間は30分もしくは60分なんじゃ。

若者の移住からうまれる 地域の拠点づくりについて



なかの ともひろ
中野 友博

問 全国的に若い世代の転出が課題となつていますが、本市も例外ではありません。この人口減少問題に対して、移住・定住支援の解決策の1つが空き家バンクの活用です。しかし、本市の空き家バンクの登録件数は、直近5年で0件となつております。令和5年12月13日に「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が施行されたことから、その内容を反映して大竹市空家等対策第2期計画が公開されました。この度の一般質問では、本市の空き家対策の現状と、これからの取組、空家活用支援補助金拡充について問います。

また、他自治体での移住した若者が取り組む空き家問題の事例を参考に、行政と地域を結び、地域の拠点となる「地域おこし協力隊、地域支援員制度」について提案します。

答

本市では、直接的な移住施策に重点を置くのではなく、子育て支援の充実や都市機能の強化などの施策に優先して取り組むことで、子育て世代の転出を抑制し、転入を後押ししています。

空き家対策は、危険性の高い空き家や情報提供のあった家屋などについて、現地調査を行い、適切に管理されていない場合は、所有者を特定し、適正に管理するよう通知しています。また、状況によっては、所有者などに直接会って対策を講じるよう依頼しています。

加えて建物所有者の問題意識の醸成を図るため、空き家の適正管理や活用についてのパンフレットを作成し、納税義務者への郵送や市ホームページに掲載しています。また空き家対策の講演会や相談会も開催しています。

この度の法改正の対応としては、これまでの取組を継続するとともに、特定空き家になる前の適切な管理がされていない「管理不全空家」の所有者に一步踏み込んだ改善の指導・勧告を講じていきます。地域支援員制度は、目的や有効性を判断し、対策案の一つとして調査・研究します。



大竹市の防犯活動について 防犯カメラ設置について



こいで てつよし
小出 哲義

問 安全・安心なまちづくりを実現するため、メール配信や防災無線の活用、自主防犯活動の推進、防犯灯、防犯カメラの設置等、意識づくり、地域づくり、環境づくりの観点から様々な取組がされております。今後とも、持続可能で、効果的な防犯活動が必要ですが、現状と課題をお聞きします。

地域の見守り活動においては、企業、事業者に加え、ボランティア団体の活躍に頼る実情がありますが、メンバーの高齢化と会員数の減少によりマンパワーに陰りが見えてきた状況下、防犯カメラ等の機器により、犯罪に対する抑止力を維持する必要があるとします。通学路などへの防犯カメラの増設、個人や自治会が設置する場合の補助金制度、防犯カメラ搭載型自動販売機設置の検討をはいかがでしょうかです。

答

市では不審者・犯罪情報などを防犯行政無線やメールで注意喚起する取組や、地域見守り活動などの子ども、女性、高齢者の安全確保の取組、警察署や市防犯連合会と連携した防犯講習、防犯灯や防犯カメラ設置の取組など、様々な防犯対策事業を実施しています。通学路についての点検や危険箇所の安全対策は市通学路安全推進会議を設置し実施しており、市内に設置している防犯カメラの多くは、通学路上に設置されています。公共空間に向けて設置する防犯カメラは、個人のプライバシーを不当に侵害しないよう、県のガイドラインに沿った運用を行う必要があります。個人が設置する防犯カメラへの補助金は考えていませんが、自治会が設置する防犯カメラへの補助金のニーズについては、自治会連合会に確認します。防犯カメラの設置場所などは、警察署と協議して決定しており、防犯カメラ付き自動販売機についても、警察署と連携して調査・研究していきます。



防犯カメラ



表決は議員が議案に賛成が反対を示して、全体の意思を決めることなんじゃ。反対がないときは「異議なし」と声を出すんよ。



とよかわ

かずや

豊川

和也

選挙時における 事前運動の疑いについて

問

昨年行われた市議会議員選挙にて、現職議員の収支報告書立候補準備に出発式用ハガキ600枚の記載がありました。平成27年の選挙時には出陣式のチラシ2000枚、令和元年では出発式の案内状1341通、切手10枚との記載がありました。告示後の出発式の案内を、準備活動で告示前に郵送されたなら事前運動の可能性が高いと思われますが、選挙管理委員会の見解をお伺いします。

答

選挙管理委員会は、個々の選挙違反の疑義に関する具体的事案について、違法であるか否かの審理、判断を行う権限は無く、さらに、違反行為を取り締まるべき立場でもありません。公職選挙法に違反する行為かどうかの判断は、その事実を認定し、調査する権限を有する警察などの取締当局によって行われるものです。

防災キャンプを推進します

問

災害時、体育館などが避難所になり、長期間雑魚寝で、プライバシーのない状態が続くことがあります。そのためストレスなどで亡くなってしまう方もいます。災害関連死を減らす。行政の力で救う事ができる命です。そこで、テントや寝袋などの備蓄と、自主防災組織の訓練や講習などを楽しく学ぶ、防災キャンプの活用のお考えはありますか？

答

ダンボールパーティションや簡易テントなど、避難者のプライバシー確保に使用できる物品もある程度は備えています。寝袋は備蓄していませんが、毛布や防寒シートの備蓄を進めているほか、公共施設に備えているウレタン製のマットを活用する想定です。しかし、災害規模によっては市の備蓄品が不足することも想定されるので、必要な物品を円滑に調達できるように、災害時応援協定を複数の事業者と締結することにより方策を強化します。

防災キャンプについては、現在のところ市で主催する予定はありません。まずは他自治体の事例を研究します。

第3回市議会(定例会) 議案の審議結果表

	議 案 な ど	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡 和明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田上 尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第 37 号	大竹市駐車場設置及び管理条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 38 号	大竹市自転車等駐車場設置及び管理条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 39 号	財産の取得について (高規格救急自動車(車両))	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 40 号	財産の取得について (高規格救急自動車(救急用資機材))	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 41 号	大竹市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 42 号	大竹市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の一部変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 43 号	令和6年度大竹市一般会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一: 議長

○: 賛成

●: 反対

欠: 欠席

棄: 棄権